

令和5年7月14日

報道関係者 各位

2023年度ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成団体の決定について

標記の件について、公益財団法人 日本生命財団から別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

本市で活動している「島原白山子ども食堂キッズキッチン」の助成が決定し、下記のとおり目録贈呈式が開催されますので、あわせてお知らせいたします。なお、贈呈式の詳細につきましては、日本生命財団 助成事業部にお問合せください。

記

1. 本市における助成団体

島原白山子ども食堂キッズキッチン

2. 目録贈呈式

日 時：7月20日（木）午後1時30分～

場 所：長崎県庁7階 教育委員会室

出席者：受贈者6団体

長崎県教育次長、日本生命長崎支社長、日本財団理事長

3. 問合せ先

日本生命財団 助成事業部 TEL 06-6204-4014

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会社会教育課
社会教育文化班 担当 林田
電話：0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

2023年度

**児童・少年の健全育成助成 生き生きシニア活動顕彰
助成・顕彰団体決定**

今年度は全国で257団体・1億2,762万円の児童・少年の健全育成助成と
214団体・1,070万円の生き生きシニア活動顕彰を実施します。
財団設立からの累計(1979年～2023年)は、17,675団体・91億円になります。

長崎県では、児童・少年の健全育成助成

田代少年剣道クラブ はじめ 4 団体が
決定いたしました。

生き生きシニア活動顕彰 2団体 が決定いたしました。

1979年の助成開始から45年の累計は

長崎県内 313団体 1億6,563万円 となりました。

2023年7月

公益財団法人 日本生命財団

この件に関するお問い合わせ先

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7

日本生命財団 助成事業部

TEL: 06 (6204) 4014

FAX: 06 (6204) 0120

日本生命財団は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当たり、より継続的かつ普遍的な社会貢献を行うため1979年に設立された助成型財団です。

以来「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、児童・少年の健全な育成、高齢社会福祉、環境問題などの分野を中心に助成活動を行っております。

ホームページ <https://nihonseimei-zaidan.or.jp>

2023年度 ニッセイ財団

児童・少年の健全育成助成(物品助成)の概要

未来をになう子どもたちが、心ゆたかに成長することをめざして

日本生命財団は、1979年7月の設立以来、人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資することを目的として活動しております。

児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育てていくことが必要です。

このような活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体・グループに対して、その活動に常時・直接必要な物品を助成しております。

おかげさまで財団設立以来45年継続して、全国1万4千を超える団体に助成

児童・少年の健全育成助成(物品助成)は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。

助成金額は、1団体30万円～60万円です。

助成物品は、助成対象活動を継続的に展開するためになくはない直接活用物品で、子どもたちが待ち望み、子どもたち自らが主体的・継続的に共有して活用する物品としております。

- ◆2023年度は、全国各地の257団体に総額1億2,762万円の助成を行います。
- ◆財団設立から45年の累計実績は、1万4千団体・89億円を超えております。

子どもたちの生きる力を育むさまざまな活動を応援

次のような活動を行っている団体に助成いたします。

<2023年度助成257団体の内訳>

「異年齢・異世代交流活動」	157団体
「自然と親しむ活動」	43団体
「子育て支援活動」	34団体
「フリースクール活動」	14団体
「療育支援活動」	9団体

情報誌「F u - m i」の発行

当助成が多くの方々のお役に立つことを願い、助成制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介します情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以上

2023年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰の概要

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動に対して

わが国は少子高齢社会を迎えており、元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動が注目されております。
日本生命財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動を顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

2007年の制度発足からこれまでに3,244団体を顕彰

生き生きシニア活動顕彰は、全国都道府県知事から推薦いただいた団体について、当財団の選考委員会・理事会にて決定いたします。
児童・少年の健全育成活動、地域づくり活動、高齢者支援活動、障がい者支援活動など的高齢者による“生き生きシニア活動”に取り組む民間の団体・グループに対して、1団体5万円の顕彰を行います。

- ◆2023年度は、全国各地の214団体に1,070万円の顕彰を行います。
- ◆2007年の制度発足からの累計実績は、3,244団体・16,220万円となっております。

さまざまな“生き生きシニア活動”を応援

次のような活動を行っている団体を顕彰いたします。

<2023年度顕彰214団体の内訳>

「高齢者支援活動」	104団体（高齢者向けサロン、訪問ボランティア等）
「地域づくり活動」	53団体（環境美化・環境保護活動、ボランティアガイド活動等）
「児童・少年の健全育成活動」	44団体（登下校時見守り活動、伝承芸能の継承等）
「障がい者支援活動」	13団体（手話・点訳・朗読ボランティア活動等）

情報誌「F u - m i」の発行

当顕彰が多くの方々のお役に立つことを願い、顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容などをご紹介する情報誌「F u - m i」を発行しています。

*当財団のホームページでPDF版をご覧ください。

以 上

2023年度 ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成 決定団体一覧

42

長崎県

コード	団体名 活動の内容	助成内容	助成額 (千円)
4201	田代少年剣道クラブ II-3 武道(剣道・柔道等)を通しての児童の健全育成	剣道防具一式	570
4202	SASEBOボンズベースボールクラブ II-2 地域に根ざしたスポーツ活動(武道を除く)を通しての児童の健全育成	ピッチングマシン	570
4203	十善寺龍踊会 II-5 郷土芸能の保存・伝承活動を通しての児童の健全育成	太鼓一式	570
4204	島原白山子ども食堂キッズキッチン III-3 児童・少年の居場所づくり支援、子ども食堂、学習支援(フリースクールを除く)	調理器具・エアコン	490

合計

助成件数

4 件

助成決定額合計

2200 千円

2023年度 ニッセイ財団 生き生きシニア活動顕彰 決定団体一覧

42 長崎県

コード	団体名 活動の内容	顕彰内容	顕彰額 (千円)
-----	--------------	------	----------

4251	志佐なごみ会	活動顕彰	50
------	--------	------	----

Ⅲ-1 高齢者の居場所(サロン)づくり

4252	水計寿会	活動顕彰	50
------	------	------	----

Ⅰ-4 その他児童・少年の健全育成活動

合計 助成件数 2 件 助成決定額合計 100 千円

日本生命財団の概要

NIPPON LIFE INSURANCE FOUNDATION 2023.4



ごあいさつ

公益財団法人 日本生命財団(ニッセイ財団)は、日本生命保険相互会社が、創業90周年を迎えるに当たり、同社創業以来の共存共栄、相互扶助の精神に基づき、「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、1979年7月に設立された助成型財団でございます。

とりわけ、「変化する時代・社会的要請に柔軟に対応して公益事業を進め、都市部のみならず日本全国を対象とした社会還元を行う」という機能・役割を託されました。

以来、この目的と付託された機能・役割を達成するため様々な検討を重ね、主に児童・高齢・環境の三分野を中心として、以下の6つの助成事業を進めております。



2022年度は、コロナ禍の影響が残る中ではありましたが、3年ぶりに贈呈式を開催、シンポジウム等を対面とウェブ併用のハイブリッド開催とするなど柔軟な対応を進め、関係各位のご協力により、各助成は滞りなく実施することができました。これからも、SDGs等新たな時代の動きを踏まえながら、真に豊かな社会づくりに役立つことを目指し、努力を続けて参ります。

引き続き皆様方の深いご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



会長 山極 壽一



理事長 林 武史

日本生命財団の助成事業の概要

▶ 助成事業

児童・高齢・環境の三分野を中心に、6つの助成事業を実施しております。児童・少年の健全育成助成(物品助成)、および生き生きシニア活動顕彰の2事業は、「都道府県助成領域」として全都道府県のご協力を得て進めております。

領域区分	助成事業名称	概要	関連ページ
都道府県助成領域	児童・少年の健全育成助成(物品助成)	子どもの健全育成に向け活動する地域の団体へ必要な物品を助成	P3
	生き生きシニア活動顕彰	高齢者が主体となる地域貢献活動を顕彰	P6
研究・地域活動助成領域	児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成)	子どもの健全育成に資する研究に取り組む研究者等への研究助成	P4
	高齢社会助成	高齢社会の課題解決に資する活動・研究に助成	P5
	環境問題研究助成	環境問題研究に取り組む研究者等への研究助成	P7
	出版助成	環境助成の成果出版と博物館展示案内助成	P8

▶ 助成実績

1979年の財団設立以来、累計で2万960件、総額179億1,800万円を助成しております。

助成事業名称	2022年度実績		累計実績	
	件数	金額	件数	金額
児童・少年の健全育成(物品助成)	264件	1億2,840万円	14,174件	88億6,500万円
児童・少年の健全育成(実践的研究助成)	14件	1,921万円	43件	5,700万円
高齢社会助成	15件	2,500万円	609件	16億9,200万円
生き生きシニア活動顕彰	204件	1,020万円	3,030件	1億5,100万円
環境問題研究助成	26件	4,000万円	1,304件	29億7,200万円
出版助成	3件	729万円	394件	13億7,400万円
合計	526件	2億3,010万円	20,960件	179億1,800万円

(累計実績の金額は百万円未満切り捨て)

助成趣旨

当財団は、活力あふれる真に豊かな社会の実現にむけて、次代をになう子どもたちがたくましく心豊かに成長することをめざしております。

児童・少年の健全育成には、地域社会を構成する住民や諸組織が手を携え、地域活動の一環として、子どもたちの生きる力を育てていくことが必要になっています。

そこで、当財団は、地域活動の一環として定期的・継続的に実施している子どもたちが行う自然体験・生活体験活動、仲間づくりや文化の伝承活動、地域の子育て支援活動に対して、都道府県知事のご推薦に基づき助成し、活動の輪を広げてまいります。

助成概要

上記趣旨のもと、活動に常時・直接必要な物品の助成を行っております。

分野	1 自然と親しむ活動 2 異年齢・異世代交流活動 3 子育て支援活動 4 療育支援活動 5 フリースクール活動
金額	30万円～60万円(物品購入資金)
対象	上記の活動に定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間の団体

助成物品の例



助成団体活動の様子



※一部、撮影のためにマスク等を外した写真があります。

助成実績

2022年度	累計
264件 1億2,840万円	14,174件 88億6,500万円

年間スケジュール



詳しくは
日本生命財団HP
児童・少年の健全
育成助成(物品助
成)へ!



助成趣旨

子どもを巡る社会的課題が広範、かつ複雑化するなか、健全育成に資する実践性高い研究の役割・重要性が高まっています。

当財団は設立40周年を機に、研究者と現場の専門職等実践家の協働による実践的研究を対象に、2020年度より助成を開始しました。

助成概要

上記趣旨のもと、「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」を基本テーマに、社会実装をめざす研究に対して助成を行っております。

分野	1. 健全育成のための教育、周到的準備を図る分野(教育、予防的対応等を図る分野) 2. 健全育成にとって喫緊の対応を要する分野(療育的対応等を要する分野)	
期間	2年間	1年間
金額	最大400万円	最大100万円
対象	研究者、または実践家 (1年助成は大学院博士課程在籍者も対象)	



2022年度助成先代表研究者の著書。絵本を通じて、選挙を学び、政治や社会に主体的に参加する態度を養う教育(主権者教育)の教材。本研究では、さらにアニメーションを制作し、小学生を対象とした主権者教育の新たな形を提案する。

年間スケジュール



詳しくは
日本生命財団HP
児童・少年の健全
育成助成(実践的
研究助成)へ!



2022年度助成事例

代表研究者	研究テーマ
大原 天青 国立武蔵野学院 厚生労働技官	非行少年に対する地域定着支援体制のモデル構築と実証的評価
嶋田 洋徳 早稲田大学 人間科学術院 教授	学校教育現場における「ストレスマネジメント教育」の実装
1年助成	
代表研究者	研究テーマ
神崎 真実 立命館グローバル・イノベーション機構 専門研究員	未来志向の活動を通じた居場所形成：新しい不登校支援の検証
実吉 綾子 帝京大学 准教授	早期空間認知トレーニングは子どもの文字認知発達を促進するか?
詩田 純 弘前大学 専任講師	アニメーションを用いた主権者教育の実践とその効果に関する研究

(注) 上記含む計14件に助成。代表研究者の所属・役職は助成申請時。

助成実績

2022年度	累計
14件 1,921万円	43件 5,700万円

助成趣旨

高齢社会助成は、1982年度より将来の高齢社会を見据えた先駆的・実践的な事業への助成に取り組んでまいりました。
これからの「人生100年時代」を活力溢れるものとするためには、自助・互助・共助・公助が一体となって人々を支え合う社会の構築が喫緊の課題です。当財団は、この課題の解決に資するための活動、研究に対し助成を行っております。

助成概要

上記趣旨のもと、「地域福祉チャレンジ活動助成」「(若手)実践的研究助成」の2つのプログラムにより、これからの地域社会づくりの推進に資する助成を行っております。

プログラム	地域福祉チャレンジ活動助成
期間	2年間
金額	最大400万円(1年最大200万)
対象	多様なステークホルダーと協働で活動する団体

プログラム	実践的研究助成	
	実践的課題研究	若手実践的課題研究
期間	2年間	1年間
金額	最大400万円(1年最大200万)	最大100万円
対象	研究者、または実践家	45歳未満の研究者または実践家

年間スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
公募通知							理事会にて助成先決定					
公募受付期間	←			→								
選考												
シンポジウム・ワークショップ開催の募集												
シンポジウム・ワークショップ開催												
シンポジウム・ワークショップ記録集発行												

詳しくは日本生命財団HP 高齢社会助成へ！



2022年度助成事例

助成先団体	活動テーマ
NPO法人 パルシック	高齢者の社会参加への場づくり：子どもたちと触れ合う地域の再生
社会福祉法人 函南町社会福祉協議会	町民の孤まり事を減らしたい！共生型居場所から始まる重層的支援
NPO法人 ノーマCafé	人生の見取りまで含む生活支援「東郷ささえ愛 家族」

実践的研究助成

代表研究者	研究テーマ
[実践的課題研究] 鈴木 みずえ 浜松医科大学 臨床看護学講座教授	DXを用いた高齢者を支える家族関係重視型ACプログラム開発と実践
[若手実践的課題研究] 佐藤 広崇 旭川医科大学 脳神経外科学講座客員助教	ICTを用いた令和時代の病院間連携～専門医不在地域への挑戦～

(注)上記含む計15件に助成。代表研究者の所属・役職は助成申請時。



2022年度「地域福祉チャレンジ活動助成」採択の3団体の活動の様子
上段左：NPO法人パルシック
上段右：社会福祉法人函南町社会福祉協議会
下段：NPO法人 ノーマCafé

助成実績

2022年度	累計
15件 2,500万円	609件 16億9,200万円

顕彰趣旨

高齢社会を迎えるなか、元気で活力にあふれた高齢者の地域貢献活動が注目されています。当財団では、高齢者が主体となって行う地域貢献活動に対して、都道府県知事のご推薦に基づき顕彰し、地域活動の輪を広げてまいります。

顕彰概要

分野	1. 児童・少年の健全育成活動(登下校時見守り活動、居場所づくり等) 2. 障がい者支援活動(手話・点訳・朗読ボランティア活動等) 3. 高齢者支援活動(高齢者の見守り活動、生活支援活動等) 4. 地域づくり活動(環境美化・清掃活動、環境保護活動等)
顕彰	5万円
対象	地域の高齢者が主体となって行う上記活動に取り組む団体

顕彰団体活動の様子



※一部、撮影のためにマスク等を外した写真があります

顕彰実績

2022年度	累計
204件 1,020万円	3,030件 1億5,100万円

年間スケジュール

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
						選考委員会	理事会にて助成先決定	決定通知		贈呈式
募集告知 都道府県にて申請受付										

詳しくは日本生命財団HP 生き生きシニア活動顕彰へ！



INFORMATION!

団体の活動を詳しく紹介した情報誌Fu-mi(ふみ)をご覧ください！
「児童・少年の健全育成助成(物品助成)」「生き生きシニア活動顕彰」の助成制度・団体の活動内容を紹介した情報誌です。 詳細はこちら→



各都道府県で贈呈式・懇談会を開催しています！

都道府県の協力を得て進めております「児童・少年の健全育成」「生き生きシニア活動顕彰」については、5月～7月頃に贈呈式・懇談会を全国の各都道府県庁等で開催しております。

この贈呈式・懇談会は、都道府県関係者のご参加のもと、地域に根差した地道な活動を続けてこられた団体の皆様を讃える場となっております。懇談会では、助成・顕彰を受けられた皆さまから、日ごろの活動の様子や率直なご意見を伺っております。



贈呈式の様子(埼玉県)



懇談会の様子(岡山県)

助成趣旨

当財団では、21世紀の社会が活力あふれる真に豊かな社会となるためには、調和のとれた社会・自然環境に支えられた、活力と創造性ある人間性豊かな生活環境を一層確立していくことが重要と考えております。そこで、豊かな人間生活にとって欠かせない基盤の一つである、環境の改善・充実に資する研究に対し、助成を行っております。

助成概要

上記趣旨のもと「人間活動と環境保全との調和」を全体のテーマとし、「学際的総合研究助成」と「若手・奨励研究助成」の2種類の研究助成を行っております。

学際的総合研究助成については、その時々の環境問題をめぐる社会的な重要度等に対応するよう募集テーマを設定しております。

プログラム	学際的総合研究助成	若手・奨励研究助成
募集テーマ	<ul style="list-style-type: none"> 持続型社会の構築に向けた地域循環共生圏の形成 気候変動の影響や自然災害に対する適応力の強化 	助成趣旨を踏まえた研究(特段のテーマ設定はありません)
期間	2年間	1年間
金額	1,000万円~1,500万円	50~150万円
対象	多方面・多分野の大学研究者と実践家と協働して推進する研究	45歳未満(学生・院生は除く)

年間スケジュール

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
公募通知		公募受付期間		選考		選考委員会1回目		選考委員会2回目		理事会にて助成先決定	
						選考結果通知		ワークショップの参加者募集		ワークショップの開催	

詳しくは
日本生命財団HP
環境問題助成へ!



2022年度助成事例

学際的総合研究助成

代表研究者	研究テーマ
横山 勝英 東京理科大学 都市環境学部・教授	塩性湿地の創出を基軸とした災害に強い森里海まちづくり

若手・奨励研究助成

代表研究者	研究テーマ
池田 敬 岐阜大学 応用生物科学部・特任准教授	禁猟がニホンジカの生息数と市街地出没に及ぼす影響
池田 丈 広島大学大学院 統合生命科学研究科・准教授	作物によって吸収される耕作地中のケイ酸と土壌細菌の関係

(注)上記含む計26件に助成。代表研究者の所属・役職は助成申請時。



2022年度学際的総合研究助成先の研究フィールド
上段:防潮堤のある風景 下段:防潮堤のない風景(気仙沼市舞根地区)
気仙沼市舞根地区は東日本大震災後、塩性湿地に着目し、防潮堤に頼らない街づくりを行っています。この地区を対象とした研究を通じて、環境と防災に配慮した国土形成のあり方を探る学際性の高い成果が期待されます。

助成実績

2022年度	累計
26件 4,000万円	1,304件 29億7,200万円

助成趣旨

助成成果の社会還元や地域文化の振興等を目的に、出版助成を行っております。現在、下記の2つの助成プログラムを実施しております。

1. 環境問題研究助成成果発表助成

環境問題研究助成の研究成果の普及を目的に、過去の研究助成対象者に対して、優れた研究結果の成果発表としての出版物の発刊に対して助成を行っております。

2. 博物館展示案内出版助成

地域文化の振興や青少年の文化教育に資するため、各地の博物館の協力を得て展示案内書を出版し、当該博物館をはじめ所在地県内の小・中・高等学校・図書館等に寄贈しております。

出版助成による刊行書籍



環境問題研究成果出版(累計58書目)



2022年度助成「北海道博物館」(シリーズ第79作)

助成実績

2022年度	累計
3件 729万円	394件 13億7,400万円

INFORMATION!

博物館展示案内出版助成のあゆみ

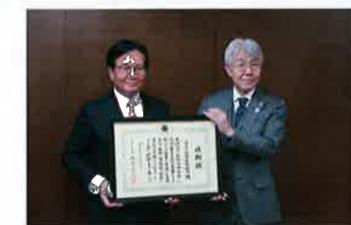
博物館展示案内出版助成は1983年度より開始されました。当助成は、博物館活動の支援を通じて地域文化振興に協力するとともに、地域の児童・少年の文化教育に資することを目的として実施され、小・中学生にも理解しやすい展示案内の制作をめざしております。

2022年度までの累計では、右図の通り、全国各地の65館が助成対象となっており、再版を行った館も少なくありません。

当助成を通じた取組みは、1994年のメセナ大賞で「地域の文化の振興、普及そして教育に貢献している」と評価され、メセナ普及賞を受賞いたしました。また、2018年には公益財団法人日本博物館協会から「永年にわたり日本全国の博物館の振興に多大な貢献を行った」との評価をいただき、「博物館協会創設90周年特別表彰」を受賞いたしました。



2022年度までの助成先博物館の分布



2022年度贈呈式「北海道博物館」

「児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成)」「高齢社会助成」「環境問題研究助成」では、シンポジウム・ワークショップにて成果報告を行い、成果の社会還元を行っております。

■2022年度児童・少年の健全育成 実践的研究助成ワークショップ

目的	「児童・少年の健全育成 実践的研究助成」の研究成果報告
日時	2022/11/23
場所	TKPガーデンシティ大阪淀屋橋での現地出席 及びオンライン参加のハイブリット形式にて実施(120名参加)
プログラム	「1年助成」採択の6名の研究者からの成果報告



■第35回高齢社会シンポジウム「高齢社会を共に生きる」

つながる支援の展開と人生100年時代の地域・まちづくり ～コロナ禍を乗り越えて～

目的	「地域福祉チャレンジ活動助成」の成果報告
日時	2022/12/3
場所	TKPガーデンシティ大阪淀屋橋での現地出席 及びオンライン参加のハイブリット形式にて実施(500名参加)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演「助けてと言えるまち一ひとりにしないという支援」(講師)奥田 知志 氏(認定NPO法人抱樞理事長) 2020年度「地域福祉チャレンジ活動助成」採択の4団体より活動報告 総合討論



■第29回高齢社会ワークショップ

目的	「(若手)実践的課題研究助成」の成果報告
日時	2022/12/2
場所	TKPガーデンシティ大阪淀屋橋での現地出席 及びオンライン参加のハイブリット形式にて実施(140名参加)
プログラム	2020・2021年度「(若手)実践的課題研究助成」採択の4名の研究者からの成果報告



高齢社会シンポジウム・ワークショップについては、記録集を発行しております。詳細は右記二次元バーコードからご確認下さい。



■第37回環境問題研究助成ワークショップ

目的	「学際的総合研究助成」の成果報告
研究テーマ	農山村を持続可能で豊かな暮らしの教育拠点にするための実践研究
日時	2023/3/25
場所	京都里山SDGsラボ「ことす」での現地出席及び オンライン参加のハイブリット形式にて実施(140名参加)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 「学際的総合研究助成」の成果報告 小・中・高生によるSDGsへの取り組み成果発表 総合討論「農山村から社会を変える教育を」



理事・監事・評議員名簿

理事

会長	山極 壽一	京都大学 名誉教授 総合地球環境学研究所 所長
代表理事 理事長	林 武史	
代表理事 常務理事	水野 充彦	
	大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館 名誉館長
	小林 哲也	近鉄グループホールディングス株式会社 代表取締役会長 グループCEO
	白澤 政和	国際医療福祉大学大学院 教授
	武内 和彦	公益財団法人地球環境戦略研究機関 理事長 東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
	玉越 良介	株式会社三菱UFJ銀行 名誉顧問
	筒井 義信	日本生命保険相互会社 代表取締役会長
	鳥井 信吾	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役副会長
	松見 淳子	関西学院大学 名誉教授

監事

岩崎 貢	日本生命保険相互会社 常務執行役員
櫻井 美幸	弁護士

評議員

石川 幹子	東京大学 名誉教授 中央大学研究開発機構 機構教授
上野谷 加代子	同志社大学 名誉教授 日本医療大学 教授
尾崎 裕	大阪ガス株式会社 相談役
上出 恵子	活水女子大学 名誉教授
櫻田 典子	弁護士
佐藤 和夫	日本生命保険相互会社 取締役常務執行役員
澤 芳樹	大阪大学 名誉教授 大阪警察病院 理事長・院長
清水 博	日本生命保険相互会社 代表取締役社長 社長執行役員
三木 章平	公益財団法人日本生命済生会 理事長
鷲谷 いづみ	東京大学 名誉教授

2023年4月現在 五十音順(敬称略)

公益財団法人 日本生命財団

所在地	〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目1番7号 日本生命今橋ビル4階
連絡先	TEL.06-6204-4011~4 FAX.06-6204-0120
URL	http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp
助成プログラム	児童・少年の健全育成助成(物品助成) 児童・少年の健全育成助成(実践的研究助成) 高齢社会助成 生き生きシニア活動顕彰 環境問題研究助成 出版助成

詳しくは
日本生命財団
公式HPへ!





公益財団法人 日本生命財団



日本生命財団

Fu-mi

ふるさとのミライを応援します

日本生命財団
都道府県助成情報誌
Fu-mi(フミ)

vol.5

日本生命財団は「子どもの健全育成活動」「高齢者による地域貢献活動」を応援します！

コロナ禍のなか、都道府県のご協力のもと、2022年度も全国の468団体に1億3000万円を超える助成を実施しました。

児童・少年の健全育成助成

物品助成 » 1団体:最高 **60万円**

生き生きシニア活動顕彰

顕彰金 » 1団体: **5万円**

当情報誌では、助成内容・助成物品などを紹介しています。皆様のお役に立てることを願っています。

制度について、詳しくは裏表紙をご覧ください。

児童・少年の健全育成助成



2022年度の助成団体を紹介！

熊本の地に伝わる武技を継承し 郷土への愛と誇りを育みます。

熊本県熊本市 特定非営利活動法人 ^{やぶさめ} 武田流流鏑馬保存会

武田流騎射流鏑馬は、江戸時代初期から熊本で受け継がれている日本に2流派しかない古武道で、県の重要無形文化財として指定されています。2007年には、この流鏑馬の流儀継承と併せ、グローバル化がすすむなか古武道を通して子どもたちが日本人としてのアイデンティティを育むことを目指し、武田流流鏑馬保存会が「やぶさめ少年塾」を開塾しました。小中学生を対象に、流鏑馬の歴史や弓道の基本、礼儀作法、乗馬、木馬体配などの稽古を重ねています。平和を願う「やぶさめの心と技」を学びながら郷土熊本への愛と誇りを育んでいます。



写真提供：熊本城総合事務所

礼に始まり、礼に終わる。
他者への思いやりと稽古に集中する心を学びます。



稽古は、武田流騎射流鏑馬の「誓文」の唱和から始まります。他者を悪く言わない、先生や友だちを大切にする、日々鍛錬を怠らない、伝統を守り抜くことなど武田流の精神を学んでいます。脱いだ靴は揃える、近所の方にはきちんと挨拶をするなど、稽古を通してひとつひとつ礼儀作法を身につけています。

◎ 団体からのメッセージ

少年期に芽生えた熱い思いは
これからの困難を乗り越える糧となるはずです。

この度は助成ありがとうございました。子どもたちは伝統の重みや大切さを肌で感じ、楽しみにまたある種の使命感をもって稽古に出てきてくれています。登校拒否の子どもや対人関係が苦手な子どもも、それぞれ少年塾には休まず稽古に励まれました。少年期の心に熱いものが芽生えることは非常に大切で、その後の人生の糧となり、いろいろな困難を乗り越えられるのだと思います。少年塾では流鏑馬技術の向上の前に、人間形成に大きな影響を与えていると思っています。



代表：竹原 浩太さん

助成物品 / 弓・馬具等

小学生から中学生、男子も女子もいて、いろいろな体格差がありますが、それぞれの塾生に適したサイズ、強度の用具を使用することが可能となりました。



※一部、撮影のためにマスク等を外した写真があります。

自然の中で「子育て」を共に！ 里山にふるさとのある子を 育てています。

地域の里山で、子どもたちが自由に生き生きと遊ぶ場を提供しています。森や畑の中は自然の恵みがいっぱい、普段の生活ではなかなか体験できない遊びがたくさんできます。泥んこ遊びや木のぼり、畑あそびや野菜の収穫などなど、みんなのふるさとになるよう、未来の担い手となる子どもたちを育む場として活動を展開しています。また、夏休みには、拠点の森から離れ、川あそびや地元の山への登山、テントに泊まる活動も行っています。



子どもたちが自由に遊んでいる中で作った秘密基地。いろんな年齢の子どもたちが思い思いに遊んでいます。



子どもたちが自由に遊んでいる中で作った秘密基地。いろんな年齢の子どもたちが思い思いに遊んでいます。



木にしがみつき、木を感じる。木の上から動物や鳥の目線で森を見て、彼らの想いを感じます。



助成物品/ テント・クライミング用具一式

テントは、あえて簡単には設営できないA型を購入。協力しあって立て、そこで寝ることが子どもたちの育ちにつながると考えました。



■ 団体からのメッセージ



人間は自然の中の一部であると思っています。

そのことを本当に感じるためには、子ども時代に自然の中で様々なものに触れ、感じる事がとても重要で、その感覚なくして、SDGsや共生について考えることはできないと思います。また、コロナ禍において、今まで以上に子どもたちの体験活動の機会が減っています。頭で学ぶことは、いくつになってからでもできますが、子ども時代の体験は、今しかありません。今後も、子どもたちにとって大切な自然体験活動や異年齢交流などさまざまな体験を通じての学びの場を作っていきたいです。



代表：八巻 若奈さん

恩返しで始めた子ども食堂。 地域の人たちが集い、活躍する場です。

クレールは障がいのある人の就労の場として2008年に設立され、地産の野菜をたっぷり使った弁当の販売やレストランの仕事をしています。2018年度からは、地域に恩返ししようと、子ども食堂を開始し、平日毎日と第4土曜日に、子どもたちに無料で食事を提供しています。また、地域ボランティアや大学生が集まり、一緒に遊んだり、宿題などの学習支援を行っています。

挨拶をすることが、ここでのルール。いただきます、ごちそうさま、ありがとうございます。を忘れません。

スタッフ、地域のボランティアの学生と触れ合える。
ここは、社会のことを学べる居場所。

第4土曜日には、季節イベントやコンサート、ゲーム、工作、クッキング講座などの活動を学生ボランティアや地域の人たちと協力して行っています。ここに来ることで、多くの人とつながり、楽しくいろいろな経験ができています。



障がいのある調理スタッフも、子どもたちが喜んで食べる様子に、やりがいを感じています。



子どもたちが自炊できるように、カレー、おにぎり、おでん等の調理実習もしています。



助成物品/ 冷凍冷蔵庫・調理家電・テレビ等

IHクッキングヒーターは、調理実習の時に、子どもでも安全に扱って大助かり。幼児から大学生や高齢者の方も一緒に温かいご飯を食べて大家族のように過ごしています。大容量の冷凍冷蔵庫も大活躍、いろいろな食材を保存しています。



頼りになる大学生ボランティアと地域のスタッフ



■ 団体からのメッセージ

このたびの助成支援、心より感謝申し上げます。いまでは、クレール子ども食堂に利用登録している子どもが500人を超え、連日多くの子どもや家族が訪れます。光熱費をはじめ諸物価の高騰で、運営は大変厳しいですが、つながりを求めてくる子育て家庭にできるだけの支援を続けていきたいと考えています。今回の助成で欲しかった備品を整備することができ、大きな助けとなりました。本当にありがとうございました。



代表：原田 昭仁さん

「木のおもちゃ」にふれて、 優しさや思いやりを育てています。

「木育」って知っていますか? 「木にふれることで楽しさや嬉しさを共有し、思いやりや優しさの心を育む」ことです。毎月、駅前の商業施設で開催している木育事業「もくもく広場」では、たくさんお親子が積み木などの国産の木のおもちゃを楽しんでいます。



「もくもく広場」では、様々な世代の方が交流しています。

子育て世代の転勤者が多く「もくもく広場」に毎回新しい親子が参加し、地域の保護者の交流の場となっています。年配の方も、子どもたちの遊ぶ様子を見に来られるなど様々な世代の方が自然とコミュニケーションがとれる場として定着しつつあります。



スタッフは「どちらからですか?」など聞きながら声かけをします。子育て情報の問い合わせなどには、子育て支援コーディネーターと一緒に対応しています。



出前イベントなども行っています。



助成物品/ 子ども用遊具一式

ヒノキの良い香りに、子どもたちもにっこり。たくさん玉に、最初はこわごわ足を入れていた子も、慣れると繰り返し遊びます。保護者の方も香りや手触りに癒やされると一緒に楽しんでいます。



■ 団体からのメッセージ

今回、助成いただいた木のプールを置くことで外国人を含む子育て中の親子の交流がしやすくなったようです。ありがとうございます。5年以上「もくもく広場」を開催していますが、木育体験は幼児期の子どもの原体験のひとつとして大変重要だと考えています。これからも木育サポーターの方たちの協力も得ながら、多くの方に知っていただき、体験していただけるように広報や内容を検討していきたいと思っています。

代表:
鈴木 登美子さん



子どもたちの「やりたい」を大切に ありのままに過ごせる 学びの場です。

「山の上のフリースクール Saita」では、学校に行きたいけれど思うように行けなかったり、行かない選択をした子どもたちが自発的に自分のペースややり方で学んでいます。子どもたち1人ひとりが主体であり、子ども自身が、提案→話し合い→企画→活動まで全てを実行。大人のスタッフも、多様な価値観を尊重しあえる心を養えるよう支援しています。



助成物品/ 工具・パソコン等

コロナの影響で活動が停滞していましたが、いままで無かったパソコンをいただけて子どもたちは大喜び。学習の時も、遊びの時も、画像や情報を得るのに非常に役に立っています。最近では自主的にタイピング競争を始め、すごく早く打てるようになりました。



自然に囲まれ、自然がそのまま教材になる。

校舎は沢山の木々に囲まれた山の中腹にあり、自然豊かな環境を活かした学習や活動を行っています。山歩き、川遊び、季節に合わせて山菜採り、タケノコ掘り、草木染めや畑仕事のワークショップなども。校舎の周りが遊びや学びの教材になります。



外部講師の地域の方から農作業などを教えてもらっています。



■ 団体からのメッセージ

子どもたちが、少しでも多くの人とふれあい、多くのことに意見をだし、ほんの少しでも成長してくれればとの思いで続けています。その体験の機会を増やすためにも今回の物品助成は大変役立っております。とくに工具類が増えたことで、大掛かりな作業もできるようになりました。すぐ電動ドリルのコツを覚え、みんなで使う靴の棚も製作、次は自分たちで小屋を作りたいという声があがり計画中です。

代表:福井 祐二さん

また、みんなに会えた。



潮風うけて、陽を浴びて
届け、元気の響き!

助成物品 太鼓台・バチ
長崎県 鷹島元寇太鼓保存会



助成物品 野球用具一式
神奈川県 ブラックシャーク



助成物品 児童書・書架一式
静岡県 パタポン友の会



助成物品 バasketボール用具一式
宮崎県 田野ミニバスケットスポーツ少年団



助成物品 剣道防具一式
広島県 世羅西若竹会



助成物品 ユニフォーム等一式
奈良県 天理ホッパーズ
ミニバスケットボールクラブ

助成物品 ラグビー用具一式
滋賀県 子ども向けラグビーチーム
和邇アリゲーターズ



助成物品 療育遊具一式
千葉県 特定非営利活動法人
真ごころ

回れ、回れ、ジャンプ!
みんなでトランポリンだよ!



助成物品 子ども用遊具一式
和歌山県 集まれ!! Chicks&Mommy



日本全国の団体が感染防止に向けた様々



助成物品 楽器一式
栃木県 グリーンジュニアマーチングバンド

鳥を発見、1羽、2羽、...
あっ、いま飛び立った!



助成物品 カメラ・双眼鏡等一式
茨城県 しんそう世界だいすきクラブ



助成物品 カラーエバーマット等
青森県 一般社団法人 プラシア

支柱が軽い、みんなで運べる!
子どもたちが率先して準備や片付けを行います

これまでの支柱は重く、子どもたちが運ぶと手を挟むなどケガの心配がありました。助成いただいた軽量の支柱のおかげでみんなが安心して準備片付けができます。ポールも新しくなり、コロナ禍で寂しい思いをしている子どもたちにとって、この助成は明るい励みとなるものでした。

助成物品 バレーボール用具一式
奈良県 高田バレーボールスポーツ少年団

食材の保存や下準備に大助かり!
料理の幅を広げ、食育にも取り組みます

子ども食堂の食材確保は大きな問題ですが、最近、野菜・果物・冷凍魚類をいただける機会が増えてきて、助成していただいた大型冷蔵庫が大活躍。新しいオープンレンジも効率よく調理でき、子どもたちの喜ぶメニューをどんどん増やしていけます。

助成物品 冷蔵庫・オープンレンジ
高知県 めのしだランチ

障がい者も健常者も一緒に楽しめる
子どもたちの笑顔が増えました

地域の方と一緒にバラスポーツ教室を実施しています。新しくポッチャなどの用具が入り、健常者と一緒に交流できる時間も増え、クラブに来る楽しみが増えた子どもたちは喜んでます。今後はポッチャの大会に出てみたいと子どもたちは目をキラキラさせています。

助成物品 スポーツ用具一式
福島県 TEAM まきばの朝

元気な笑顔が集まった。



助成物品 キャンプ用テント・用具一式
 岐阜県 ガールスカウト岐阜県第22団



助成物品 歌舞伎用具一式
 長野県 下條村こども歌舞伎教室



助成物品 大型絵本等
 福島県 ばんげ読み聞かせの会



助成物品 楽器一式
 島根県 内中原シャイニング☆スターズ

向こうの島まで行くよ!
 漕げ、漕げ、出航だ!



助成物品 スタンドアップパドル等
 東京都 一般社団法人mana自然学校

全国から Fu-mi 届きました

な対策・工夫をしながら活動されています。



助成物品 剣道防具一式
 福井県 大虫剣道スポーツ少年団



助成物品 バレーボール用具一式
 秋田県 象潟バレーボールスポーツ少年団



助成物品 サッカー用具一式
 京都府 特定非営利活動法人 AS. Laranja



助成物品 ダンス用フロアシート
 北海道 LUSH DANCE SCHOOL

ワンツースリー、フォー!
 みぎっ、ひだりっ、大きくだよ!



助成物品 学習機材一式
 山口県 やないしらかべ子ども食堂 (やないしらかべ[絆]ねっとわーく)



助成物品 野球用具一式
 宮城県 高清水野球スポーツ少年団



助成物品 バドミントン用具一式
 愛媛県 大生院ジュニアバドミントンクラブ

食材を余すことなく使い切ります!
 月1回の食堂と児童養護施設へデザートのご提供

フードロス解消に役立つミキサーなどの調理器具をありがとうございました。本来廃棄してしまう食材がハンバーグやミートソースに生まれ変わった姿を見て子どもたちは目を輝かせていました。経費も減り、より多くの子どもたちに手が届くことになりそうです。

助成物品 調理器具・食器一式
 静岡県 レストランセラヴィ こども食堂

2年ぶりのテント泊に子どもたちはニコニコ
 小さなテントが自粛制限の中で大活躍!

コロナ禍の集団活動やキャンプでは色々と制限され、1人1張のテント使用や食事・集会も距離をとることが求められます。このため、今回助成いただいたテントやタープのおかげで、事前キャンプで訓練し日本ジャンボリーにも参加できました。

助成物品 キャンプ用テント・用具一式
 神奈川県 日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜第88団

ゴム製の碁盤だから石がずれない!
 準備時間が短縮できて対局にも集中できます

これまでは紙製の碁盤のため、碁盤に置いた石がずれやすくトラブルのもとになっていましたが、助成いただいた碁盤はゴム製なので机に固定でき安心です。また、ズレ防止として碁盤の裏に一つ一つテープを貼っていましたが、その手間も省け、貴重な朝の準備時間が短縮できました。

助成物品 碁用具一式
 熊本県 特定非営利活動法人 熊本子ども囲碁普及会



2022年度

生き生きシニア活動顕彰

顕彰を受けられた
地域貢献活動団体をご紹介します!



兵庫県宝塚市 宝塚エコネット

生物多様性にむけて 貴重な生物を次世代に 継いでいく活動です。

『宝塚エコネット』は、市の天然記念物に指定された松尾湿原の保全を行っているボランティアグループです。2002年からの活動で、サギソウ、ムラサキミカキグサ、カキランなどの絶滅危惧種を含む多様な植物の生態系を維持。

2012年には、国内で一番小さなトンボといわれるハッチョウトンボを36年ぶりに確認しました。



サギソウ



ハッチョウトンボ



大切な自然環境を多くの人にとってもらうため、観察会等を開催。毎回たくさんの人が参加しています。



■ 団体からのメッセージ

野外での自然相手の活動なので、思うようにならない困難なことや、天候や気候の変化で活動環境が厳しくなることもたくさんあります。しかし、県のレッドデータブックに記載されている生物が何十年かぶりに湿原に姿を見せ始めたりすると、続けてきて本当によかったです。私たちが活動が、自然環境を守り生物の多様性にも貢献しているのかと想像すると、喜びもひとしおです。そして、今回のように顕彰されることを名誉に感じています。 副代表：川本節男さん



市内を流れる逆瀬川沿いの「ホテルの里ピカピカランド」でホタルを飼育。近隣の小学生を招待してホテルの幼虫放流会も開催しています。



乾燥が進む湿原を、
未来に残せるように。

松尾湿原は乾燥化し森林へと変化していく遷移がみられ、湿原特有の貴重な植物が絶滅する心配がありました。そこで、湿原への水源機能の向上と陽当り改善のため、周囲に茂っている常緑樹を伐採。また土壌の栄養分が増え過ぎないように、枯草や落ち葉を撤去するなどの保全活動を続けています。

富山県高岡市 高岡らっこの会

絵本を通じて、高岡っ子の 健やかな成長のお手伝い。

市保健センターで行われている3か月児健診で、2000年からブックスタートのボランティア活動をしている『高岡らっこの会』。健診に来た赤ちゃんとお母さんに絵本の読み聞かせを行いながら、自治体からプレゼントされる絵本と子育ての支えになる情報を手渡しています。そのなかで、育児に関するお話をしたり、絵本の楽しさや大切さを伝えたり。この活動をメンバーみんなが笑顔で楽しみながら、子育てをずっと応援してきました。



ブックスタートとは?

赤ちゃんに絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動で、1992年にイギリスのパーミングゲームで始まりました。日本国内では2000年「子ども読書年」を機にスタートし、以来、たくさんの自治体に活動の和が広がっています。

保護者同士の交流が生まれることも。

3か月児健診以外でも、絵本の読み聞かせ、手遊び、親子運動などの子育て支援活動を行っています。保護者同士の交流の場にもなっていて、市外からの参加者も増えています。



赤ちゃんが少しでも楽しく興味を抱くように、読み手の声や表情も大切です。



メンバーのみなさんが手作りした独楽の折り紙も、絵本と一緒にプレゼント。



絵本『べろべろべろ』/
さく：長 新太、出版：BL出版

交流が深まる楽しい時間は、子育て中の方々のストレス解消にも。

団体に届いている うれしいお声。

いただいた絵本を擦り切れるまで何度も開いて読み聞かせました。

あのときの経験で子どもがすごく本好きになりました。

子どもが大学生になったいまも絵本を大切に持っています。いまだに子どもが見返すことも。



■ 団体からのメッセージ

赤ちゃんたちは、絵本に描かれた絵を目で追ったり、擬音語の音読に「えっ、なに？」って目を大きく見開いたり、かわいい反応を見せてくれます。その一人ひとりの愛らしさからメンバーはエネルギーをもらっています。つい先日は私たちの活動に興味を持ってくれた大学生から、高岡らっこの会に参加したいとの申し出がありました。この活動を、しっかりと次の世代にも引き継ぎたいと思います。

代表：竹内ときえさん



※一部、撮影のためにマスク等を外した写真があります。

生バンド演奏で ココロとカラダが弾む 音楽の感動を届けます。

2009年に、バンド経験者が集まり『サーフベンチャーズ』を結成。その後、県や近隣の市のアーティストバンクなどに登録し、福祉施設を中心に訪問コンサートを行っています。バンド名からも分かるようにメインの演奏曲はベンチャーズ。他には寺内タケシとブルージーンズ、加山雄三など、レパートリーは豊富です。その日の演奏曲は、訪問先の年齢層に合わせてピックアップ。なによりも、聴いてくださる人に喜んでもらえることを一番に考えながら、多いときは1年間に37回もの演奏活動を重ねてきました。



夏はアロハシャツに白ズボン、冬は紺色のジャケットと、統一感のある衣装を意識しているそうですよ。



演奏が始まれば、座ったままでも身体でリズムをとって楽しんでくれます。



コンサート終了後は、みんなで一緒に記念撮影。



「今度はいつ来てくれるの?」と、多くの福祉施設がリピーターに。訪問コンサートでは、演奏にあわせて手拍子はもちろん、踊り出す人も。初めて生バンドを聴いた感激で、涙する人もいました。毎回のようアンコールや再訪を望む声も挙がり、そんな反応が活動の喜びとメンバーの生きがいになっています。

リードギター、リズムギター、ベースギター、キーボード、ドラムスの5人編成バンド。



■ 団体からのメッセージ

新型コロナの影響でほとんどのイベントが中止になり、練習ばかりで士気が上がらず、寂しい日々を送っていました。その中で今回の顕彰をいただき、大きな喜びと張り合いを感じました。新型コロナウイルスの状況も幾分か落ち着き、おかげさまで各方面からも少しずつお声がけいただいています。メンバー全員のマスク着用、検温、手指のアルコール消毒を徹底しながら、またみなさんに喜んでもらえる演奏をお届けしたいと思います。

代表：寺本啓介さん



無理なく元気に、地域の清掃と 車椅子の寄贈を続けています。

北九州市立年長者研修大学の穴生学舎3期生が「卒業後もみんなと一緒に活動できる機会を持とう」と集まり、2004年に『健福会』が結成されました。学舎やその近くのドーム式グラウンド周辺を清掃しながら歩道の安全を点検。さらに、プルタブを集めて福祉施設に車椅子を寄贈する活動を続けています。寄贈した車椅子は、活動開始以来19年で累計15台になりました。



町の美化と歩道の保全に、そしてメンバーの健康のために、月2回の清掃活動を続けています。



車椅子を寄贈した福祉施設から。

「ありがとうございます」「助かります」という声とともに、感謝状をいただきました。

ドラム缶2本分、約400kgのプルタブが車椅子1台分です。

プルタブの回収には、回収ボックスを設置するなど穴生学舎や市内8か所の市民センターも協力。回収したプルタブからゴミなどを丁寧に除去する作業は時間と根気が必要です。活動を始めた当初は車椅子1台を寄贈するのに約3年かかっていましたが、近年では1年で1台を寄贈できるペースに。これもプルタブ回収にご協力いただいているみなさんのおかげだと、メンバーは感謝のこころで活動しています。



記念すべき寄贈15台目の車椅子。



■ 団体からのメッセージ

年長者研修大学で履修した「健康と福祉」コースの頭文字をとって、『健福会』と名付けました。私たちの活動は学び舎と地域への、いわば恩返しです。メンバーの平均年齢が約82歳となりましたが、清掃活動もプルタブ回収活動も身体を動かすボランティアなので、自分たちの健康維持にもつながっていると考えています。これからも無理をせず、地域の皆さんの笑顔と今回の顕彰を励みに活動をしていきます。

代表：土屋征一さん



2022年度 助成・顕彰団体一覧

2022年度は、468団体に対し、
1億3,860万円の助成・顕彰を実施しました。

ホームページでもご紹介しています
http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/



ぼくの地域に
こんな活動があるんだ!

ホームページで
過去の団体も見れるよ!

※過去10年分を掲載しています。



北海道・東北エリア

● 児童:40団体

● 生き生きシニア:27団体

北海道

- 恵庭リトルシニア球団(恵庭市)
- 星置レッドソックススポーツ少年団(札幌市)
- NPO法人森のこころね(厚真町)
- 乙部町野球スポーツ少年団(乙部町)
- 比布野球少年団(比布町)
- LUSH DANCE SCHOOL(羽幌町)
- 利尻富士町スケートボード等愛好会(利尻富士町)
- 特定非営利活動法人 みなみなプレイス(標茶町)
- すまいるねっと(新十津川町)
- 江別市高齢者クラブ連合会(江別市)
- 網走市老人クラブ連合会(網走市)

青森県

- 読みかきボランティアネットワーク おはなしの木(むつ市)
- 一般社団法人 プラシア(弘前市)
- 車カジュニアベースボールクラブ(つがる市)
- 南金沢スピードスター(青森市)
- 八戸北リトル(八戸市)
- 藤崎桜リトルシニア(弘前市)
- 大野元気シニアクラブ(青森市)
- 西山ボランティアスキークラブ(青森市)

岩手県

- 水沢リトルリーグ(奥州市)
- 日本ボーイスカウト岩手連盟 盛岡地区協議会(盛岡市)
- 青巻野球スポーツ少年団(遠野市)
- 住田野球スポーツ少年団(住田町)
- 花輪鹿子踊り保存会ジュニア(宮古市)
- 上早瀬12区見守り隊(遠野市)
- 千厩長生会連合会(一関市)
- 花巻市老人クラブ連合会東支(花巻市)
- 南小梨老友会(一関市)
- 北小梨老人クラブ(一関市)
- 小梨天寿会(一関市)



▲住田野球スポーツ少年団

宮城県

- Mシティー楽人(大崎市)
- 高清水野球スポーツ少年団(栗原市)
- わたりバスケットボールスポーツ少年団(亶理町)
- 利府レッドスターズスポーツ少年団(利府町)
- 仙台西部リトルシニア(仙台市)
- バレーボール倶楽部 ハッピーズ(名取市)
- 八幡福寿会(多賀城市)
- 開北みどり会(石巻市)
- 八沢さわやかクラブ(栗原市)
- たてやま安全安心見守り隊(栗原市)
- 宮城いきいき学園仙南校「ふたみ会」(名取市)
- 宮城いきいき学園気仙沼・本吉校21期生会(気仙沼市)

秋田県

- ボーイスカウト秋田第31団(秋田市)
- 象湯バレーボールスポーツ少年団(にかほ市)
- チームひばりXC(羽後町)
- J-Lio Monolies(仙北市)
- 小坂町中央地区自治会連絡協議会(小坂町)
- 城南グリーンクラブ(秋田市)

山形県

- 特定非営利活動法人オープンハウス こんべいとう(新庄市)
- 特定非営利活動法人ひびき(長井市)
- 尾花沢フットボールクラブ(村山市)
- FC余目スポーツ少年団(庄内町)

- 山形市防犯協会 千歳支部(山形市)
- 寒河江市防犯協会 寒河江支部(寒河江市)
- 橋岡元気なまちづくり協議会(村山市)
- 藤崎っ子見守り隊(遊佐町)
- うたごえ喫茶こおりやま(南陽市)



▲特定非営利活動法人ひびき

福島県

- 矢祭町剣道連盟(矢祭町)
- マミーズガーデン(須賀川市)
- 日本ボーイスカウト福島連盟 郡山第1団(郡山市)
- ガールスカウト福島県第3団(会津若松市)
- TEAM まきばの朝(鏡石町)
- 東北ジュニアスポーツ少年団ES(白河市)
- ばんげ読み聞かせの会(会津坂下町)
- 釜子小学校子供見守り隊(白河市)
- 檜枝岐村老人クラブ連合会(檜枝岐村)
- 東どんぐりの会(白河市)

関東エリア

● 児童・少年:48団体

● 生き生きシニア:35団体

茨城県

- しんそう世界だいすきクラブ(水戸市)
- 日本ボーイスカウト茨城県連盟 城里第1団(城里町)
- ガールスカウト茨城県第28団(筑西市)
- 豊里HC(つくば市)
- 特定非営利活動法人クラブ・ドラゴンズ「こどもスポーツ教室」(龍ヶ崎町)
- ガールスカウト茨城県第8団(常総市)
- 清水洞の上自然を守る会(那珂市)
- NPO法人ひめま生息系再生プロジェクト(茨城町)
- 筑西市いきいきヘルス会(筑西市)
- 水戸市シルバーハビリティ体操指導士の会(水戸市)
- 特定非営利活動法人総合型地域スポーツクラブ 取手セントラルクラブ(取手市)
- 特定非営利活動法人 取手東部わいわいスポーツクラブ(取手市)

栃木県

- グリーンジュニアマーチングバンド(宇都宮市)
- 特定非営利活動法人 子どものとなり佐野(佐野市)
- 犬塚学童野球部(犬塚育成会スポーツクラブ)(小山市)
- くらろそ柔道スポーツ少年団(那須塩原市)
- 西空手道スポーツ少年団(那須塩原市)
- V-G すずめ(宇都宮市)
- 一般社団法人 宇都宮市学童保育センター(宇都宮市)
- 葛生本若会(佐野市)
- 中門ドリームクラブ(佐野市)
- 西高野すみれ会(壬生町)
- 緑友会(壬生町)

群馬県

- ボーイスカウト高崎第17団(高崎市)
- 一般社団法人まえばし子育て支援協会 After school program 'Ohana(前橋市)
- 社会福祉法人一越会 糸車(前橋市)
- ヘルはなみずき(太田市)



▲ボーイスカウト高崎第17団

埼玉県

- ボーイスカウト埼玉県連盟 狭山第2団(狭山市)
- ボーイスカウト埼玉県連盟 みなみ地区 川口第15団(川口市)
- 藤ミニバスケットボールクラブスポーツ少年団(蕨市)
- 越谷子ども会育成連絡協議会(越谷市)
- 和光JVC(朝霞市)
- 蕨グリーンファイターズ(蕨市)
- 特定非営利活動法人 ふじみ野明るい社会づくりの会(ふじみ野市)
- こども食堂 茶みせ(毛呂山町)
- 社会福祉法人久美愛園 久美学園(さいたま市)
- 会梅自治協会(さいたま市)
- 駒形自治会(さいたま市)
- 前地自治会 シニアサポーターチーム(さいたま市)
- サーフベンチャーズ(所沢市)
- 東狭山ヶ丘地域支え愛の会(所沢市)
- 五丁目こむぎつちよつら健康体操(上里町)

千葉県

- ガールスカウト千葉県第17団(柏市)
- 南空会スポーツ少年団(野田市)
- FCボレイ口成田(成田市)
- 君津市スポーツ少年団貞元剣道クラブ(君津市)
- 特定非営利活動法人 千葉中央おやこ劇場(千葉市)
- みんなの居場所「童」(流山市)
- 特定非営利活動法人 真ごころ(柏市)
- NPO法人 千葉こども家庭支援センター(千葉市)
- 酒々井町朗読奉仕グループ「虹」(酒々井町)
- 河原塚 こぶき会(松戸市)
- メイク松戸ビューティフル(松戸市)
- TOMAC(柏市)
- 平和地区シニアクラブ連合会(匝瑳市)
- 野田市中途失聴者・難聴者の集い「みづく」(野田市)



▲南空会スポーツ少年団

東京都

- 緑小ユニオンズ(小金井市)
- 日本ボーイスカウト東京連盟 あすなろ地区 杉並第12団(中野区)
- ガールスカウト東京都第128団(立川市)
- ガールスカウト東京都第91団(世田谷区)
- 特定非営利活動法人 こぼのいづみ教室(日野市)
- ボーイスカウト東京連盟 中野8団(中野区)
- 特定非営利活動法人 和太鼓文化研究会(台東区)
- 一般社団法人mana自然学校(八王子市)
- 櫻和療育研究会(豊島区)
- 一般社団法人瑞穂パラスポーツエイド(瑞穂町)
- ティーサービスキーステーション ボランティアの会(板橋区)
- てんとう虫'84(大田区)
- 北区介護予防リーダーの会(北区)
- りびりと板橋 友&愛(板橋区)

神奈川県

- 日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜第88団(横浜市)
- 日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜地区 横浜第130団(横浜市)
- 日本ボーイスカウト神奈川連盟 相模原第10団(相模原市)
- ガールスカウト神奈川第57団(座間市)
- 馬場エース(横浜市)
- 横浜港北ボーイズ(横浜市)
- ブラックジャック(川崎市)
- 特定非営利活動法人 こころの電話 金沢(横浜市)
- 望地白寿会(相模原市)

- 大津シーハイツサポートクラブ(横須賀市)
- 助け合い栗田(横須賀市)
- 岩戸5丁目ふれあいの輪(横須賀市)
- 助け合いハイランド3丁目(横須賀市)

甲信越・北陸エリア

● 児童・少年:27団体

● 生き生きシニア:28団体

新潟県

- 春日野デュークス(上越市)
- 子育て保育グループ ほっぺちゃん(三条市)
- 特定非営利活動法人 ささえ愛みんなの家(上越市)
- 特定非営利活動法人 健康サポートプラス(新潟市)
- 特定非営利活動法人 地域たすけあいネットワーク(三条市)
- 剣舞舞道 都美会(新潟市)
- 茶めえ・夜なべの会(南魚沼市)
- 希望が丘いきいきクラブ(長岡市)
- 音声訳虹の会(三条市)
- 佐渡山長寿クラブ(燕市)
- 井栗老人クラブ(三条市)



▲特定非営利活動法人 ささえ愛みんなの家

富山県

- 滑川インパルス(滑川市)
- 氷見児童館少年少女発明クラブ(氷見市)
- 追分茶屋児童クラブ(富山市)
- Switch(富山市)
- 一般社団法人 Ponteとやま(砺波市)
- 日本ボーイスカウト富山第17団(富山市)
- 富山いきいき脳トレクラブ(富山市)
- いみず脳トレクラブ(射水市)
- 同心心スポーツクラブ(立山町)
- ありがとグループ(富山市)
- 語り部ひまわりの会(南砺市)
- 高岡らっこの会(高岡市)

石川県

- 七塚アカシア(かほく市)
- 能登イグルス(能登町)
- 蕨城少年野球クラブ(白山市)
- サロン出城(白山市)
- 住吉にこにこ会(津幡町)
- ズンドコ会(輪島市)



▲蕨城少年野球クラブ

福井県

- 一般社団法人ガールスカウト 福井県連盟第20団(坂井市)
- 大虫剣道スポーツ少年団(越前市)
- 勝山ジャンピング(勝山市)
- 青郷クラブ(高浜町)
- 特定非営利活動法人 福井松下村塾ふるさと留学(福井市)
- 池田町老人クラブ ドリームカンパニー(池田町)
- 中番長寿会(あわら市)
- ゆずり葉の会(永平寺町)
- 永平寺町健康長寿クラブ連合会(永平寺町)
- 丸山丸寿会(鯖江市)

山梨県

- ガールスカウト山梨県第6団(富士吉田市)
- NPO法人なまかみフィールドラジューの森(韮崎市)
- 特定非営利活動法人 森の劇場(南アルプス市)
- 一般社団法人 桃太郎スポーツクラブ(大月市)
- 牧平せせらぎ会(山梨市)
- ピンコロクラブ上河東(昭和町)

長野県

- 下條村こども歌舞伎教室(下條村)
- 坂城剣道錬成会(坂城町)
- 千曲ボーイズ(長野市)
- 信州こども食堂 古里こどもカフェ(長野市)
- 夢 未来「対山館」(大町市)
- 中川人形保存会(中川村)
- 開田高原麻織物研究会(木曾町)
- 特定非営利活動法人 戸隠森林植物園ボランティアの会(長野市)
- コールスマイル混声合唱団(長野市)
- ドリーム・コンシェル(須坂市)

東海エリア

● 児童・少年:23団体

● 生き生きシニア:18団体

岐阜県

- 羽島南部バンサーズ バレーボールクラブ(羽島市)
- ボーイスカウト岐阜県連盟 揖斐第1団(大野町)
- ガールスカウト岐阜県第22団(多治見市)
- 上石津もんでこ太鼓保存会(大垣市)
- 坂本剣道スポーツ少年団(中津川市)
- ライフサポートつづみ(大垣市)
- 雄飛地区まちづくり委員会(各務原市)

静岡県

- レストランセラヴィ こども食堂(静岡市)
- 日本ボーイスカウト静岡県連盟 浜松第19団(浜松市)
- 特定非営利活動法人 はしほみ(牧之原市)
- 和太鼓 竜神(浜松市)
- バタポン友の会(沼津市)
- 日本ボーイスカウト静岡県連盟 富士第2団(富士市)
- 西大谷千寿クラブ(静岡市)
- 大坂老人クラブ(御殿場市)
- 沼津年金協会 御殿場支部(御殿場市)
- 千枝原 千寿会(三島市)
- 十九首 戀会(掛川市)
- 西上老人クラブ西友会(浜松市)

愛知県

- 南区子ども会連絡協議会(名古屋市)
- 日本ボーイスカウト愛知連盟 岡崎第13団(岡崎市)
- 緑いきいきルーム(半田市)
- スマイルルーム(特定非営利活動法人 ニードケアプロデュース)(春日井市)
- 日本ボーイスカウト愛知連盟 碧海地区 安城第4団(安城市)
- 西尾市少年少女発明クラブ(西尾市)
- 日本ボーイスカウト愛知連盟 知多北部地区 東海第2団(東海市)
- 日本ボーイスカウト大府第2団(大府市)
- 安城市歩け・ランニング運動指導員連絡協議会(安城市)
- 味浜第一長生会(西尾市)
- 尾張旭市 山の手シニアクラブさき草会(尾張旭市)
- 弥富福祉ハンドメイド(弥富市)
- いきいき花クラブ(大治町)
- ふれ愛サロンの会(蟹江町)

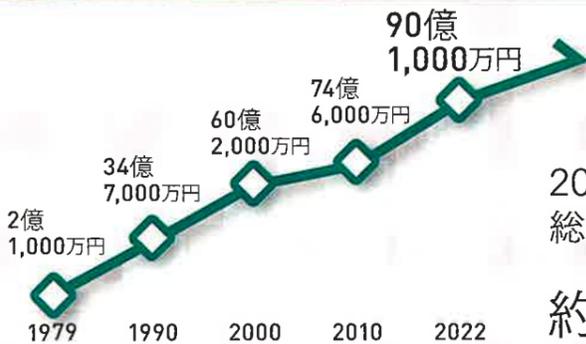


▲西尾市少年少女発明クラブ

この44年間(1979年~2022年)の累計は、17,204団体 90億1,000万円になります。



累計 **17,204** 団体



2022年12月末時点
総額

約**90.1**億円

三重県

- ヘルナサッカークラブ(菟野町)
- 一般社団法人 三重サッカーアカデミー(鈴鹿市)
- 南伊勢スケートボード連盟(南伊勢町)
- 特定非営利活動法人 shining(鈴鹿市)
- 認定特定非営利活動法人ときわ会 藍ちゃんの家(伊勢市)
- 福生助け愛ネット(鈴鹿市)
- 特定非営利活動法人 CTF松阪(松阪市)
- 大湊町高齢者通所センター「いこい」(伊勢市)



▲南伊勢スケートボード連盟

近畿エリア

- 児童・少年:40団体
- 生き生きシニア:26団体

滋賀県

- 日本ボーイスカウト滋賀連盟 大津第23団(大津市)
- 栗東FC「子どもサッカー教室」(栗東市)
- 子ども向けラグビーチーム 和邇アリゲーターズ(大津市)
- フリースクールてだのふあ(彦根市)
- 小修理ボランティア(湖南市)
- 楽団わいわい(湖南市)
- 西武石山団地老人クラブ「西武豊寿会」(大津市)

京都府

- 日本ボーイスカウト京都連盟 白梅地区協議会(舞鶴市)
- ガールスカウト京都府第68団(京都市)
- 大山崎ジークバード(大山崎町)
- 特定非営利活動法人AS.Laranja(京都市)
- 下鴨子ども見まもり隊(京都市)
- 下京少年補導委員会(京都市)
- 送迎・配食ボランティアグループ やまびこ(京田辺市)

大阪府

- 日本ボーイスカウト熊取第1団(阪南市)
- 大阪狭山SCジュニア(大阪狭山市)
- 日本ボーイスカウト豊中第20団(吹田市)
- 日本ボーイスカウト大連連盟 せんしゅう地区 河内長野第3団(河内長野市)
- 葛城スポーツクラブ ジュニア部門(貝塚市)
- 日本ボーイスカウト大阪第87団(大阪市)
- 日本ボーイスカウト大連連盟 みしま地区 吹田第9団(吹田市)
- ヨリドコピンポン(大阪市)
- 貝塚ファミリー劇場(貝塚市)
- ボーイスカウト豊中第17団(豊中市)
- リバーサイド みのり会(守口市)
- 蔵垣内やわらぎ会(茨木市)
- 豊川第三老人クラブ(茨木市)
- 庄あけぼの会(茨木市)
- 高瀬川自治会老人クラブ 木の会(茨木市)
- 倉治シニアクラブ さんゆう会(交野市)



▲葛城スポーツクラブ ジュニア部門

兵庫県

- 日本ボーイスカウト兵庫連盟 神戸第53団(神戸市)
- 日本ボーイスカウト兵庫連盟 西宮第22団(西宮市)

- 若王子子ども食堂の会(尼崎市)
- 北条野球スポーツ少年団(加西市)
- 富田少年野球団(加西市)
- NPO法人姫路YMCA(太子町)
- 大久保剣道教室(明石市)
- 若龍柔友会(たつの市)
- 矢野スポーツクラブ矢野川(相生市)
- 兵庫県健康生きがいづくり協議会(西宮市)
- 宝塚エコネット(宝塚市)
- 特定非営利活動法人北播磨生活支援団(加東市)
- 原自治会愛育いきいきサロン(たつの市)
- 播磨町老人クラブ連合会(たつの市)

奈良県

- 日本ボーイスカウト奈良連盟 きたやまと地区 生駒第4団(奈良市)
- 特定非営利活動法人プロストリート関西(アスベガス生駒FC)(生駒市)
- 天理ホッパーズミニバスケットボールクラブ(天理市)
- 高田バレーボールスポーツ少年団(大和高田市)
- 柳本こどもあさごはん部実行委員会(天理市)
- へぐり障がい者らいふ・ウエルネス協会(平群町)
- 公益財団法人奈良YMCA 心のフリースクール(奈良市)
- 瑞穂会(斑鳩町)
- 平城県営住宅青年青年クラブ(奈良市)
- 北登会(奈良市)
- 矢田山町東長寿会(大和郡山市)
- 射塚万年青年クラブ(奈良市)
- 當麻社寿会(葛城市)

和歌山県

- 日本ボーイスカウト和歌山第22団(和歌山市)
- セインツJrバスケットボールクラブ(田辺市)
- 上富田空手スポーツ少年団(上富田町)
- S.I.S. Special Training(御坊市)
- 亀川少年野球スポーツ少年団(海南市)
- 集まれ!! Chicks&Mommy(九度山町)
- 本町地区地域安全推進委員会(和歌山市)
- 紀伊シニアエクササイズ会(和歌山市)
- 梅原南げんきクラブ(和歌山市)

中国・四国エリア

- 児童・少年:40団体
- 生き生きシニア:35団体

鳥取県

- TC弓ヶ浜(米子市)
- 子どもの人権広場(ちいさいおうち)(米子市)
- 豊彦館(琴浦町)
- とつとりのお手玉の会(倉吉市)
- 倉吉民謡の会(湯梨浜町)
- 倉吉みつばし盆踊り保存会(倉吉市)



▲TC弓ヶ浜

島根県

- プロヴァーズスポーツ少年団(松江市)
- 松江市空手道スポーツ少年団(松江市)
- 内中原シャイニング☆スターズ(松江市)
- 遙堀野球スポーツ少年団(出雲市)
- 隠岐柔友会(隠岐の島町)
- 都万レッドスターズ(隠岐の島町)
- 浜田市少年補導委員連絡会 国府支部(浜田市)
- 別府まめな体操をしよう会(西ノ島町)
- まめな体操大津地区(西ノ島町)

岡山県

- 日本ボーイスカウト玉野第1団(玉野市)
- 里庄町少年野球クラブ(里庄町)
- 備前ジュニアスターズ(美咲町)

- 多聞会太鼓倶楽部早鳥イ草 童太鼓(早鳥町)
- めだかの茶校実行委員会(矢掛町)
- 芳明見守り隊(岡山市)
- 阿波地域防災・防犯会(津山市)
- ハッピーライフ創造塾(和気町)
- 上竹ホテルを守る会(浅口市)



▲里庄町少年野球クラブ

広島県

- 三永スピリッツスポーツ少年団(東広島市)
- Cafe地球屋(三次市)
- 広剣誠会(呉市)
- 世羅西若竹会(世羅町)
- 一般社団法人広島国際青少年協会 少年事業委員会 会員活動部門(広島市)
- 宇山長寿会(福山市)
- 緑ヶ丘音楽会(府中町)

山口県

- 須恵ファイターズ(山陽小野田市)
- 瀬サッカースポーツ少年団(岩国市)
- やないしらかべ子ども食堂(やないしらかべ「絆」ねっとわーく)(柳井市)
- 室積老人クラブ連合会8分会(市延老人クラブ)(光市)
- 周南家庭菜園同好会(周南市)
- 植原ゆうあい会(下関市)

徳島県

- 特定非営利活動法人Creer(クレール子ども食堂)(徳島市)
- 児童発達支援センター めだか(小松島市)
- 椿キャップ(阿南市)
- ねむのき(松茂町)
- 北校区防犯交通地安推進会(小松島市)
- 石井中央療クラブ 手づくりサロン教室(石井町)
- 加茂野宮友愛クラブ(三好市)
- 竜王友愛クラブ(徳島市)
- ぎんざ和團和團(三好市)
- 徳島県シルバー大学校鳴門校 OB連合会(徳島市)

香川県

- 綾川町陶錬成会剣道スポーツ少年団(綾川町)
- 円座フューチャーズソフトボール部スポーツ少年団(高松市)
- 高松クラブ(三木町)
- 大野ハリケーン(三豊市)
- 一般社団法人 もも(高松市)
- 特定非営利活動法人 ひまわり(観音寺市)
- みの元気塾(三豊市)
- 久米氏老人クラブ(丸亀市)
- 鶴田地域老人クラブ連合会(さぬき市)
- 笠田松寿会(三豊市)



▲綾川町陶錬成会剣道スポーツ少年団

愛媛県

- 大生院ジュニアバドミントンクラブ(西条市)
- 北条スポーツ少年団(松山市)
- 玉津ホープス(宇和島市)
- 八幡浜レスリング協会(八幡浜市)
- 在宅福祉ボランティア「のぞみ会」(松前町)
- 伊予地区精神保健ボランティアグループ しおさい(松前町)
- 絵手紙 ひまわり(伊予市)
- 肱川ゲートボール愛好会(大洲市)

高知県

- 高知香南ジュニアオーケストラを育てる会(香美市)
- ぬのしだランチ(高知市)
- 朝倉第二ヤングタイガーススポーツ少年団(高知市)
- 横内ジュニアバドミントンクラブ(高知市)
- 多ノ野駅前・友和会(須崎市)
- 新荘憩いの里(須崎市)
- 菊野西三五クラブ(高知市)
- みか好き会(高知市)
- ハッスルの会(高知市)
- 原池白秋会(室戸市)

九州・沖縄エリア

- 児童・少年:46団体
- 生き生きシニア:35団体

福岡県

- おんがサッカークラブ(岡垣町)
- 駿馬ミニバスケットボールスポーツ少年団(大牟田市)
- 特定非営利活動法人 春日イーグルス(春日市)
- 志免リトルタイガース(志免町)
- 志免龍神太鼓(久留米市)
- 久留米ハッピーブレイス(久留米市)
- NPO法人つなぎ愛こころ食堂(岡垣町)
- 特定非営利活動法人 山の上のフリースクールSaita(糸島市)
- 健福会(北九州市)
- おたがい隊(福津市)
- 花ボラ園芸クラブ(北九州市)
- 周望学舎 健康ボランティア会(北九州市)
- 陣原地区老人クラブ連合会(北九州市)



▲おんがサッカークラブ

佐賀県

- 特定非営利活動法人とす市民活動ネットワーク「もくもく広場」(鳥栖市)
- 和太鼓 竜童(唐津市)
- 神埼球友クラブ(神埼市)
- 武内スポーツ少年野球団(武雄市)
- 飛梅会(佐賀市)
- 循環子ども見守り隊(佐賀市)
- 鍋島校長生会(佐賀市)
- 中央区五町寿クラブ(鳥栖市)
- 鹿島市老人クラブ連合会(鹿島市)
- いしなりの森(吉野ヶ里町)

長崎県

- 上荒川雄剣会(新上五島町)
- 田平町剣道部(平戸市)
- 中山社中(長崎市)
- 鷹島元寇太鼓保存会(松浦市)
- 特定非営利活動法人 城下(島原市)
- なかしもお助け隊(佐世保市)
- 皆んなの寄り場 昭和館(川棚町)

熊本県

- 人吉市少年野球クラブ(人吉市)
- 特定非営利活動法人 武田流流流馬保存会(熊本市)
- Design my seed(熊本市)
- 天草Asovivaプロジェクト(天草市)
- 小川少年剣道クラブ(宇城市)
- 特定非営利活動法人 熊本子ども図書館(熊本市)
- 熊本市東区長嶺校区老人クラブ連合会(熊本市)
- 嘉島町老人会犬瀬高砂クラブ(嘉島町)
- 健東レンジャー隊(熊本市)
- 地域の緑が「青井さん」ふれあいサロン(人吉市)
- 益城町音声訳ボランティアこまどり(益城町)
- Dカフェ青い鳥(人吉市)

大分県

- ウインドアンサンブル荷揚(大分市)
- ガールスカウト大分県第12団(大分市)
- 日本ボーイスカウト大分県連盟 大分第2団(大分市)
- 由布川少年野球クラブ(由布市)
- 松原百円カフェyui(国東市)
- 日出町豊岡地区婦人会(日出町)
- ぐらしのサポートセンター東(九重町)



▲ウインドアンサンブル荷揚

宮崎県

- 小林伝志館(小林市)
- 児湯SC Jr.U-15(川南町)
- 田野ミニバスケットスポーツ少年団(宮崎市)
- 橋サッカースポーツ少年団(宮崎市)
- 延岡東ハンドボールスポーツ少年団(延岡市)
- ガールスカウト宮崎県連盟第20団(宮崎市)
- 上学ノ木さんクラブ(宮崎市)

鹿児島県

- 紫原小学校バレーボールスポーツ少年団(鹿児島市)
- 火の神乙女太鼓 爽(枕崎町)
- ボーイスカウト阿久根第1団(阿久根市)
- 羽月サッカースポーツ少年団(伊佐市)
- 大根占ソフトボールスポーツ少年団(錦江町)
- 安城カシミアクラブ(西之表市)
- 伊仙バレーボールスポーツ少年団(伊仙町)
- ほしがみねみんなの食堂(鹿児島市)
- 中勝老人クラブ(若返り会)(龍郷町)
- 猪鹿倉桜寿会(日置市)
- 始良市白金原自治会(始良市)
- 下平川老人クラブ(知名町)
- 鹿児島市運動普及推進協議会(鹿児島市)
- 鹿児島県おもちゃ病院連絡協議会(日置市)



▲火の神乙女太鼓 爽

沖縄県

- 日本ボーイスカウト沖縄県連盟 那覇第1団(那覇市)
- 具志川ビーチクリーンクラブ(うるま市)
- 阿波根ファイターズ学童少年野球部(糸満市)
- 糸満ジュニアバレーボールクラブ(糸満市)
- 座安小男子ミニバスケットボール部(豊見城市)
- おもちゃ病院 沖縄那覇(那覇市)
- 高齢者ささえあい部会 福ふく会(浦添市)
- あしながおばさんの会(竹富町)
- 上江洲福栄会(うるま市)
- みどり町1・2丁目学習支援「寺子屋」(うるま市)
- 新赤道環境美守りの会(うるま市)



▲具志川ビーチクリーンクラブ

ニッセイ財団の都道府県助成概要をご紹介します。

● 児童・少年の健全育成助成

未来をになう子どもたちの健全育成活動に対して、活動に直接必要な物品購入を助成します。

物品購入資金助成 1団体：**30万円～60万円**

● 対象活動

- ① **自然と親しむ活動**
野外活動、自然体験活動／自然観察、天体観測、自然・森林の保護活動／野外活動を通してのジュニアリーダー育成活動
- ② **異年齢・異世代交流活動**
異年齢集団の交流活動／スポーツ活動、芸術活動／郷土文化芸能の保存伝承活動
- ③ **子育て支援活動**
子育てサークル活動／子育て支援ネットワーク活動／地域に根ざした文庫、読み聞かせ、人形劇活動／児童少年の居場所づくり支援活動／子ども食堂、学習支援活動(フリースクールを除く)
- ④ **療育支援活動**
障がいのある子どもたちの療育支援活動／ノーマライゼーション推進活動
- ⑤ **フリースクール活動**
フリースクール運営活動(不登校の小中学生・高校生を対象とした活動)

助成物品の例 児童・少年の健全育成助成での物品例です。



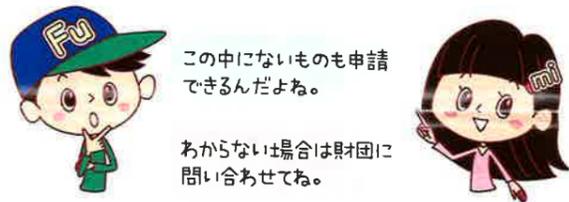
● 生き生きシニア活動顕彰

元気で活力に満ちた高齢者の地域貢献活動を顕彰します。

顕彰金 1団体：**5万円**

● 対象活動

- ① **児童・少年の健全育成活動**
登下校時見守り活動、伝承芸能の継承、居場所づくり等
- ② **障がい者支援活動**
手話、点訳、朗読ボランティア活動、自助具づくり等
- ③ **高齢者支援活動**
見守り活動、生活支援活動、居場所(サロン)づくり、健康増進活動等
- ④ **地域づくり活動**
環境美化・清掃活動、環境保護活動、ボランティアガイド活動等



くわしくはホームページをご覧ください
<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>



● 募集スケジュール

10～11月

募集要項・申請



申請締切日は都道府県毎に別途定められています

3月

決定



4月

決定通知



5～7月

贈呈式



贈呈式は各都道府県の県庁などで行われます。

※一部、撮影のためにマスク等を外した写真があります。

■ 日本生命財団について

公益財団法人日本生命財団(ニッセイ財団)は、日本生命保険相互会社が創業90周年を迎えるに当たり、同社創業以来の共存共栄、相互扶助の精神に基づき、「人間性・文化性あふれる真に豊かな社会の建設に資すること」を目的として、1979年に設立された助成型財団です。
設立に際し、とりわけ「変化する時代・社会的要請に柔軟に対応して公益事業を進め」、「都市部のみならず日本全国を対象とした社会還元を行う」という機能・役割を託されました。
以来、この目的と付託された機能・役割を達成するため、主に児童・高齢・環境の3分野を中心として、助成事業を進めております。

■ 情報誌「Fu-mi」について

この日本生命財団都道府県助成の情報誌「Fu-mi」は、当財団が実施している「児童・少年の健全育成助成」「生き生きシニア活動顕彰」が、多くの方々のお役に立つことを願い、助成・顕彰制度の概要とあわせ、対象団体の活動内容および助成物品の活用事例などをご紹介しますことを目的に発行しています。

「Fu-mi」という誌名には、「皆様の住むふるさとの未来につながる地域貢献活動」を応援したいとの想いを込めています。

また、「ふみ(文)」には「便り」という意味もあります。財団から皆さんへの「文」をお届けし、助成・顕彰団体からいただきました「お便り」もあわせてご紹介させていただきます。

発行：公益財団法人日本生命財団

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4階
TEL:06-6204-4014/FAX:06-6204-0120

<http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>